

高等学校 令和6年度 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 A組～H組

使用教科書：（東京書籍「精選 古典探究」）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】 これまでで身に着けた言語能力の基礎の定着と、応用を身に付け、使いこなすこと。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 言語によって自身の考えを発信し、相手の考えを聞く力の育成。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 言語によるコミュニケーションを図り、他の人との関係を構築すること。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・劇	書	読					
前期	「十訓抄 成方といふ笛吹き」 中国の話が引用された説話を、構成の特色に注意しながら読み取る。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語のきまりや古典特有の表現について理解し、学習課題に沿って登場人物の言動と和歌の内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	「古今著聞集 能は歌詠み」 和歌を含んだ説話を構成を的確に捉えながら読み取る。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 和歌を含む説話の特徴や、文章の構成について理解し、その内容を説明している。 【思考力・判断力・表現力等】 文章中に登場する二つの和歌の共通点を読み取り、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 大臣と女房の侍に対する対応の仕方や友則の例は、読み手にどのようなことを考えさせるかを文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	○	○	○	6
	「小話-六編 先従隗始・完壁而帰」 展開のおもしろさを味わいながら、漢文の読み方を確認する。	・教科書 ・漢文必携 ・漢和辞典			○	【知識・技能】 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査				○		○	○	○	1
	「伊勢物語 初冠・小野の雪・月やあらぬ」 ・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語の決まりと歌物語の特徴について正確に理解し学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○	12
「枕草子 九月ばかり」 随筆の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 それぞれの段落における自然描写と作者の感想とを正確に区別し、説明している。 【思考力・判断力・表現力等】 作者が「をかし」と表現した内容とその心情を本文に即して把握し、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 自然に対する作者の観察眼の鋭さについて理解するとともに、自分が「をかし」と感じるものについて文章にまとめ、他者に説明しようとしている。	○	○	○	7	
「鴻門之会」 項羽の生き方を通して人間のあり方について関心を深め、調べて発表する。	・教科書 ・漢文必携 ・漢和辞典			○	【知識・技能】 言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解し、その内容を説明している。 【思考力・判断力・表現力等】 「臣死且不避。……不取也。」の樊噲の主張について理解し、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の性格や人柄について自分の考えを文章にまとめ、発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。	○	○	○	10	
定期考査				○		○	○	○	1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
後期	「枕草子 中納言参り給ひて・雪のいと高う降りたるを」 随筆の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで 作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、作者の価値観が現代でも 当てはまる例について考察し、学習課題に沿って 平安時代の後宮生活について自らの考えを深めよう としている。	○	○	○	11
	「徒然草 花は盛りに」 随筆に表れている作者の主張を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで随筆の文章に表れた作者の主張について理解し、学習課題に沿って 自らの ものの見方、感じ方、考え方を 深めよう としている。	○	○	○	9
	「玉勝間 兼好法師が詞のあげつらひ」 他の作品との関係を踏まえながら多面的・多角的に随筆を読み、考えを広げる。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで随筆の文章に表れた作者の主張について理解し、学習課題に沿って 自らの ものの見方、感じ方、考え方を 深めよう としている。	○	○	○	9
	「史記 四面楚歌・項王自刎」 『史記』を読み、項羽の生き方を通して人間のあり方について関心を深め、調べて発表する。	・教科書 ・漢文必携 ・漢和辞典			○	【知識・技能】 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで『史記』を読んで項羽の生き方について理解し、学習課題に沿って、人間のあり方について関心を深めたり、調べて発表したりしようとしている。	○	○	○	11
	定期考査				○		○	○	○	1
	「更級日記 門出」 他の作品との関係も踏まえながら日記を読み、作者の境遇を的確に捉える。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文学史における女流日記文学の位置づけについて理解し、学習課題に沿って作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について読み取ろうとしている。	○	○	○	7
	「源氏物語 光源氏の誕生・若紫」 他の作品や絵との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取る。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 『源氏物語』の概要や特徴について理解し、その内容を説明している。 【思考力・判断力・表現力等】 登場人物の関係を整理してそれぞれの心情を読み取り、内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでの学習の中で『源氏物語』について言及していた作品を確認し、『源氏物語』のどのような部分が他の作品に影響しているのか考察し、話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。	○	○	○	12
	「儒家の思想」 思想の異なる三人の儒家の文章を読みテーマに対する共通点や相違点を文章にまとめる。	・教科書 ・漢文必携 ・漢和辞典			○	【知識・技能】 「儒家」について、代表的な思想家と思想内容を正しく理解し、また、「仁」が日本においてどのように捉えられてきたか正しく理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 「仁」とはどのような徳か、また、「君子」とはどのような人物か正しく理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 「君子」とはどのような人物か、先人のさまざまな考え方を調べ発表し、さらに討論などを通して自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	7
定期考査				○		○	○	○	1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
後期	「大鏡 雲林院の菩提講・道真の左遷・花山院の出家」 作品の特色に注意しながら、歴史物語の内容を的確に捉える。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 『大鏡』の概要や特徴について理解し、その内容を説明している。 【思考力・判断力・表現力等】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品の叙述の特徴や語り手の立場について整理・理解し学習課題に沿って内容について意見を述べ合い、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	11
	「蜻蛉日記 なげきつつひとり寝る夜」 日記に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を、自分と関係づけながら読み取る。	・教科書 ・体系古典文法 ・古文単語 ・古語辞典			○	【知識・技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで日記文学に表れた作者のものの見方、感じ方、考え方について理解し、学習課題に沿って自分と比較しながら考察を深めようとしている。	○	○	○	9
	「近代詩」 詩にうたわれた情景や作者の心情を読み味わい 近代詩と古体詩の違いを理解する。	・教科書 ・漢文必携 ・漢和辞典			○	【知識・技能】 漢詩中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに漢詩で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力等】 詩の情景や、作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを、根拠を明確にして理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、暗唱などを通して優れた表現に親しむとともに、その内容を説明しようとしている。	○	○	○	7
	「道家の思想」 思想の異なる二人の道家の文章を読み人間を巡るさまざまな思想を読み取る。	・教科書 ・漢文必携 ・漢和辞典			○	【知識・技能】 道家の思想と主な思想家について正しく理解し、説明できる。 【思考力・判断力・表現力等】 老子が理想とした状態が崩壊することによって、儒家が重視した徳目もはやされるといふ老子の説明を、その表現の特徴とともに理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 道家の思想について調べて発表し、さらに討論などを通して自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査				○		○	○	○	1 合計 156